

第7章 まちづくりセンター別世帯と住居

1 世帯

(1) 世帯数

西区の「琴似二十四軒」が21,104世帯で最も多い(第7-1表、第7-1図)

令和2年10月1日現在の世帯数が多いまちづくりセンターをみると、西区の「琴似二十四軒」が21,104世帯で最も多く、以下、西区の「西町」が20,873世帯、東区の「北栄」が20,412世帯、白石区の「白石」が20,330世帯などと続いている。世帯数が2万世帯を超えるまちづくりセンターは、これら4つのまちづくりセンターのみである。

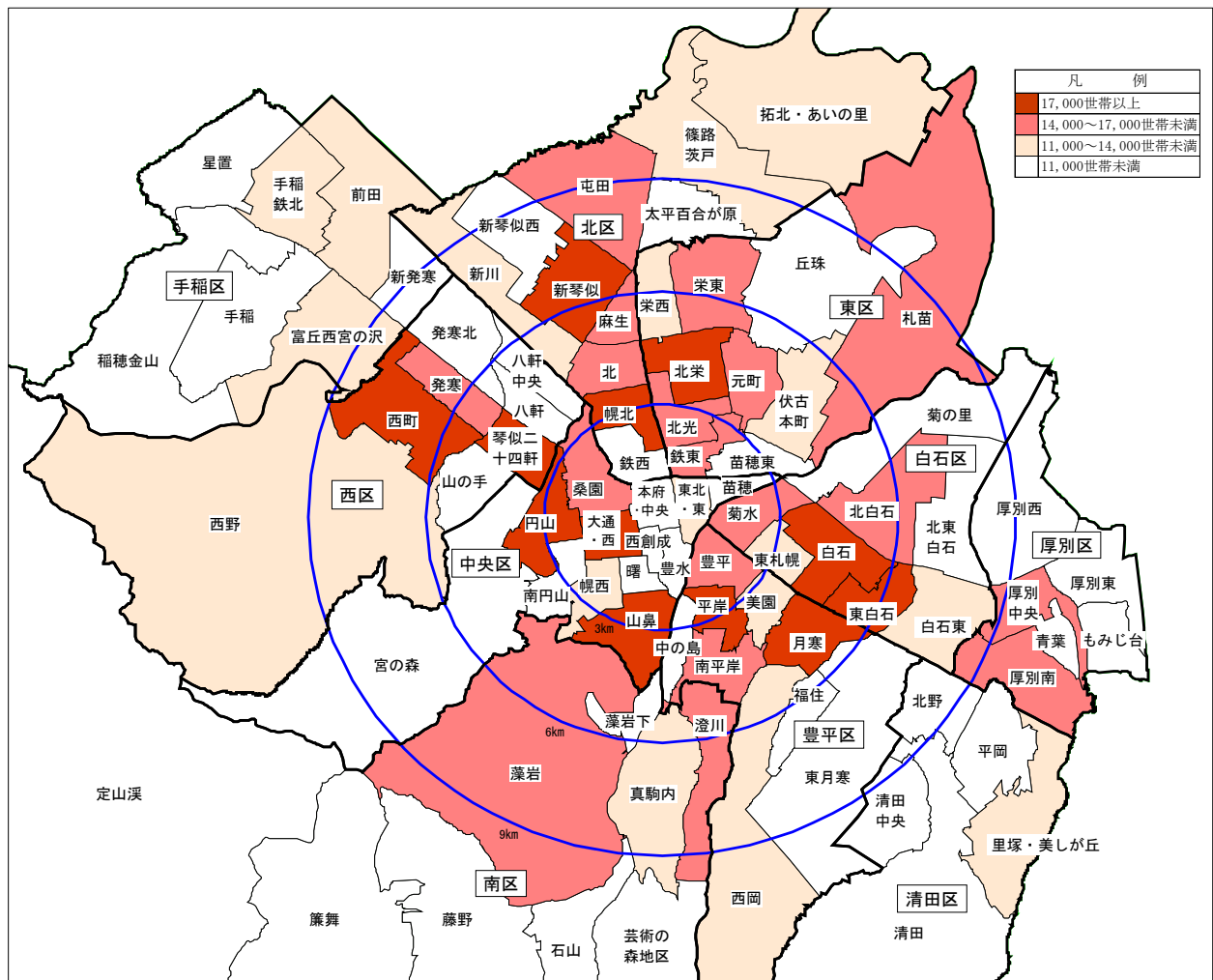
第7-1表 世帯数の多いまちづくりセンター

令和2年10月1日現在

順位	1)	まちづくりセンター	世帯数
1	(10)	西) 琴似二十四軒	21,104
2	(1)	西) 西町	20,873
3	(7)	東) 北栄	20,412
4	(2)	白) 白石	20,330
5	(31)	中) 大通・西	19,938
6	(36)	北) 幌北	19,680
7	(5)	豊) 月寒	19,132
8	(20)	白) 東白石	18,574
9	(8)	中) 山鼻	17,798
10	(19)	中) 円山	17,683

注: 1) ()内は人口の多い順位。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-1図 まちづくりセンター別世帯数(令和2年10月1日現在)



<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

(2) 平均世帯規模

平均世帯規模は、都心や地下鉄沿線から離れるにしたがい大きくなる(第7-2表、第7-2図)

令和2年10月1日現在の一般世帯(住居と生計を共にしている人の集まりまたは一戸を構えて住んでいる単身者、間借り・下宿などの単身者、会社などの独身寮の単身者)の平均世帯規模(1世帯当たりの世帯人員)に注目する。

平均世帯規模が大きいまちづくりセンターをみると、清田区の「清田中央」が2.55人で最も大きく、以下、北区の「拓北・あいの里」が2.53人、北区の「屯田」及び東区の「札苗」が2.52人などと続いている。

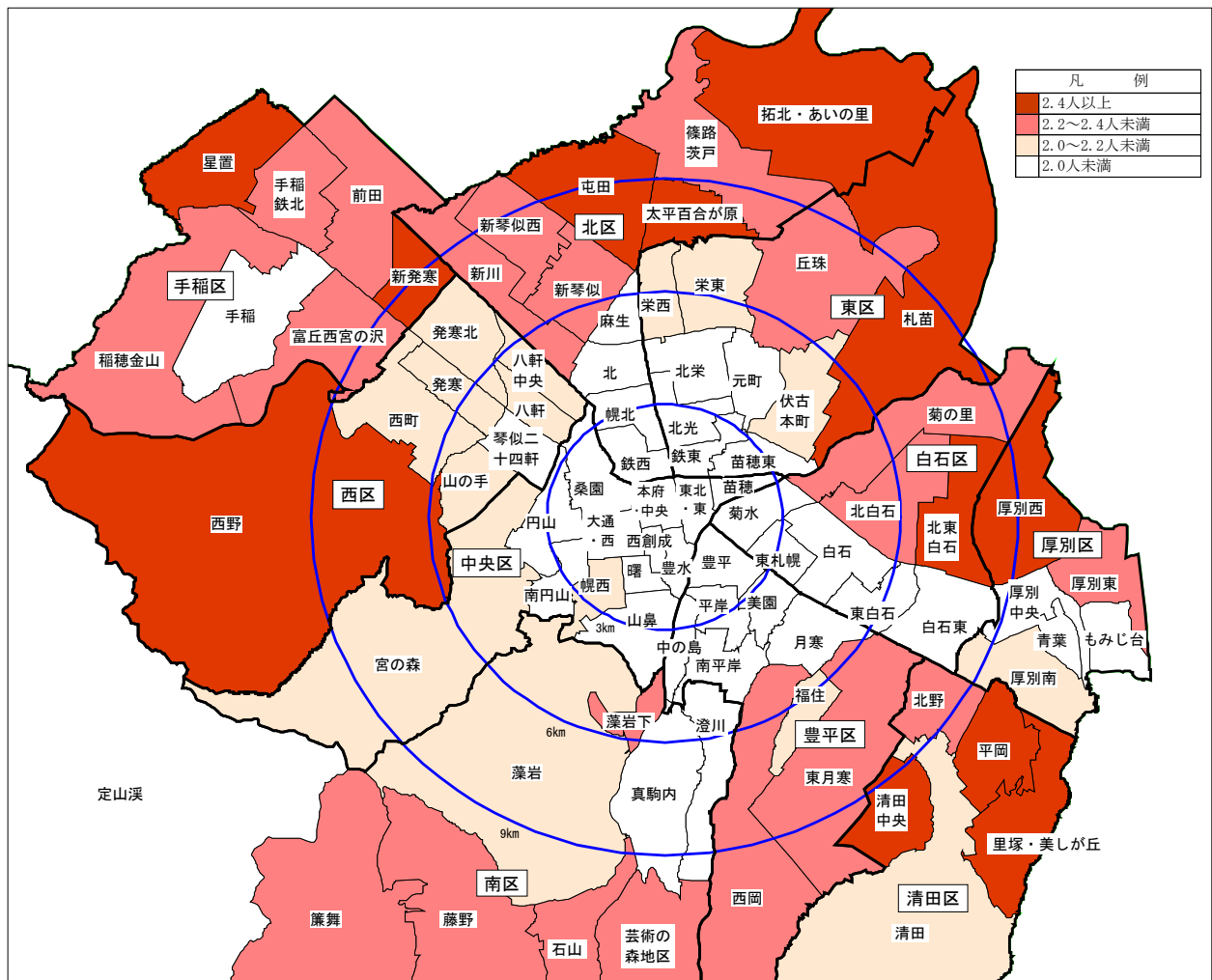
一方、平均世帯規模が小さいまちづくりセンターをみると、中央区の「豊水」及び中央区の「西創成」

第7-2表 一般世帯における平均世帯規模の大きいまちづくりセンター及び小さいまちづくりセンター

平均世帯規模の大きいまちづくりセンター		平均世帯規模の小さいまちづくりセンター			
順位	まちづくりセンター	平均世帯規模	順位	まちづくりセンター	平均世帯規模
1	清) 清田中央	2.55	1	中) 豊水	1.29
2	北) 拓北・あいの里	2.53	1	中) 西創成	1.29
3	北) 屯田	2.52	3	北) 幌北	1.32
3	東) 札苗	2.52	4	中) 大通・西	1.37
5	手) 新発寒	2.51	4	南) 定山溪	1.37
6	清) 里塚・美しが丘	2.50	6	北) 鉄西	1.42
7	厚) 厚別西	2.48	7	中) 本府・中央	1.43
8	手) 星置	2.47	8	中) 東北・東	1.49
9	清) 平岡	2.45	8	中) 曙	1.49
10	白) 北東白石	2.43	10	北) 麻生	1.51

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-2図 まちづくりセンター別一般世帯における平均世帯規模(令和2年10月1日現在)



<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

が1.29人で最も小さく、次いで、北区の「幌北」が1.32人などと続いている。

平均世帯規模は、都心や地下鉄沿線から離れるにしたがって大きくなる傾向がみられる。

(3) 家族類型別状況

単独世帯の割合は、都心から3km未だ地下鉄沿線のまちづくりセンターで高い(第7-3表、第7-3図)

一般世帯総数に占める単独世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が79.6%で約8割を占めて最も高く、以下、中央区の「西創成」が78.6%、中央区の「豊水」が77.5%などと続いている。

一方、単独世帯の割合が低いま

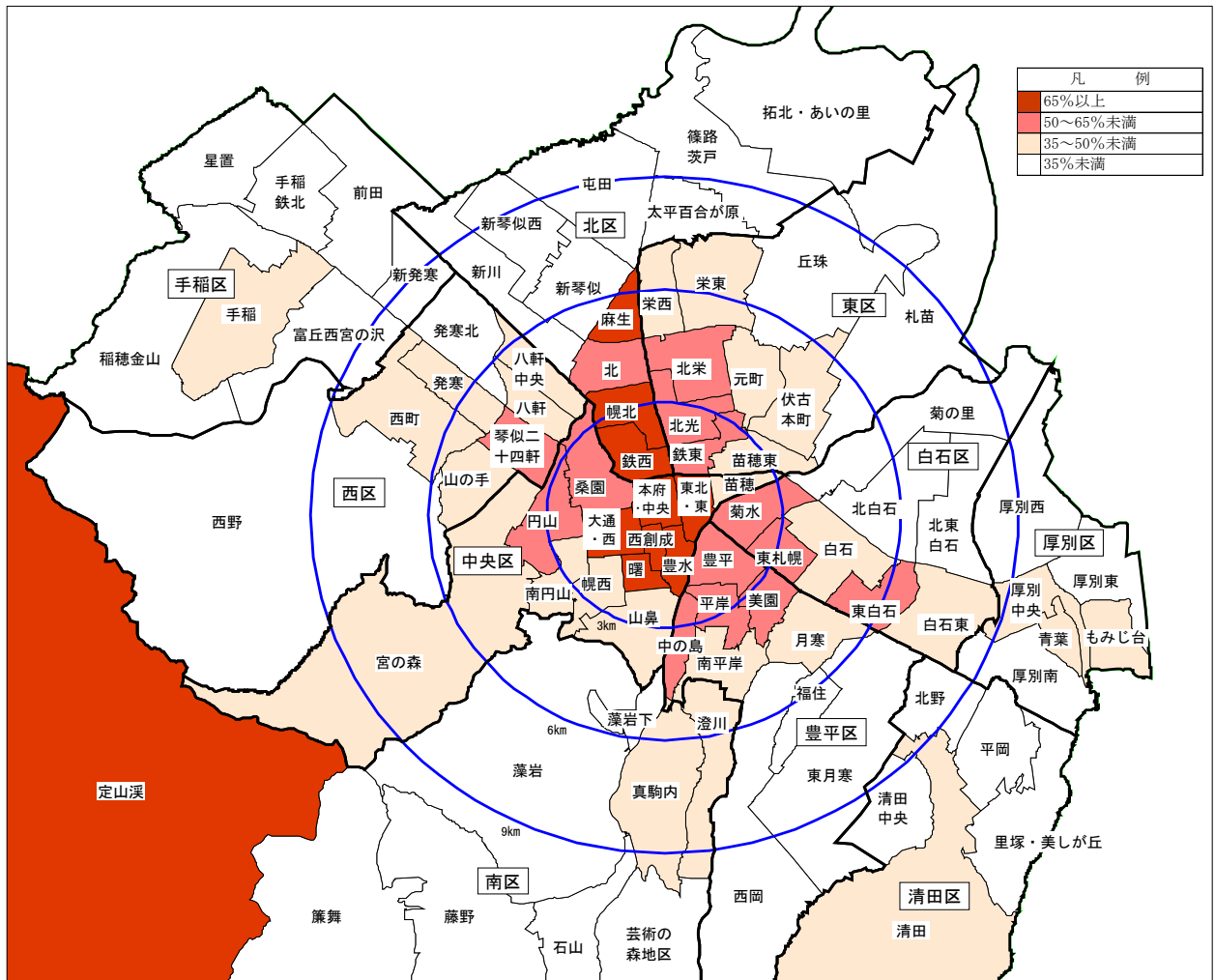
第7-3表 単独世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

一般世帯総数に占める割合であり、家族類型「不詳」を除いて算出。

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	単独世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	単独世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	北) 幌北	79.6	1	清) 清田中央	18.9
2	中) 西創成	78.6	2	手) 星置	19.3
3	中) 豊水	77.5	3	清) 里塚・美しが丘	19.7
4	南) 定山溪	76.2	4	厚) 厚別西	20.4
5	中) 大通・西	75.1	5	北) 拓北・あいの里	20.8
6	北) 鉄西	73.8	6	手) 新発寒	20.9
7	中) 本府・中央	67.2	7	清) 平岡	21.1
7	中) 曙	67.2	8	北) 屯田	21.8
7	北) 麻生	67.2	9	西) 西野	22.4
10	中) 東北・東	66.7	10	厚) 厚別東	22.7

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-3図 まちづくりセンター別単独世帯割合(令和2年10月1日現在)



注: 第7-3表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

ちづくりセンターをみると、清田区の「清田中央」が18.9%で最も低く、以下、手稲区の「星置」が19.3%、清田区の「里塚・美しが丘」が19.7%などとなっている。単独世帯の割合が2割を下回っているのはこれら3つのまちづくりセンターのみである。

単独世帯の割合は、都心から3km未満や、地下鉄沿線にあるまちづくりセンターで高い傾向がみられる。

核家族世帯の割合は、手稲区の「星置」が75.0%で最も高い（第7-4表、第7-4図）

一般世帯総数に占める核家族世帯の割合が高いまちづくりセンター

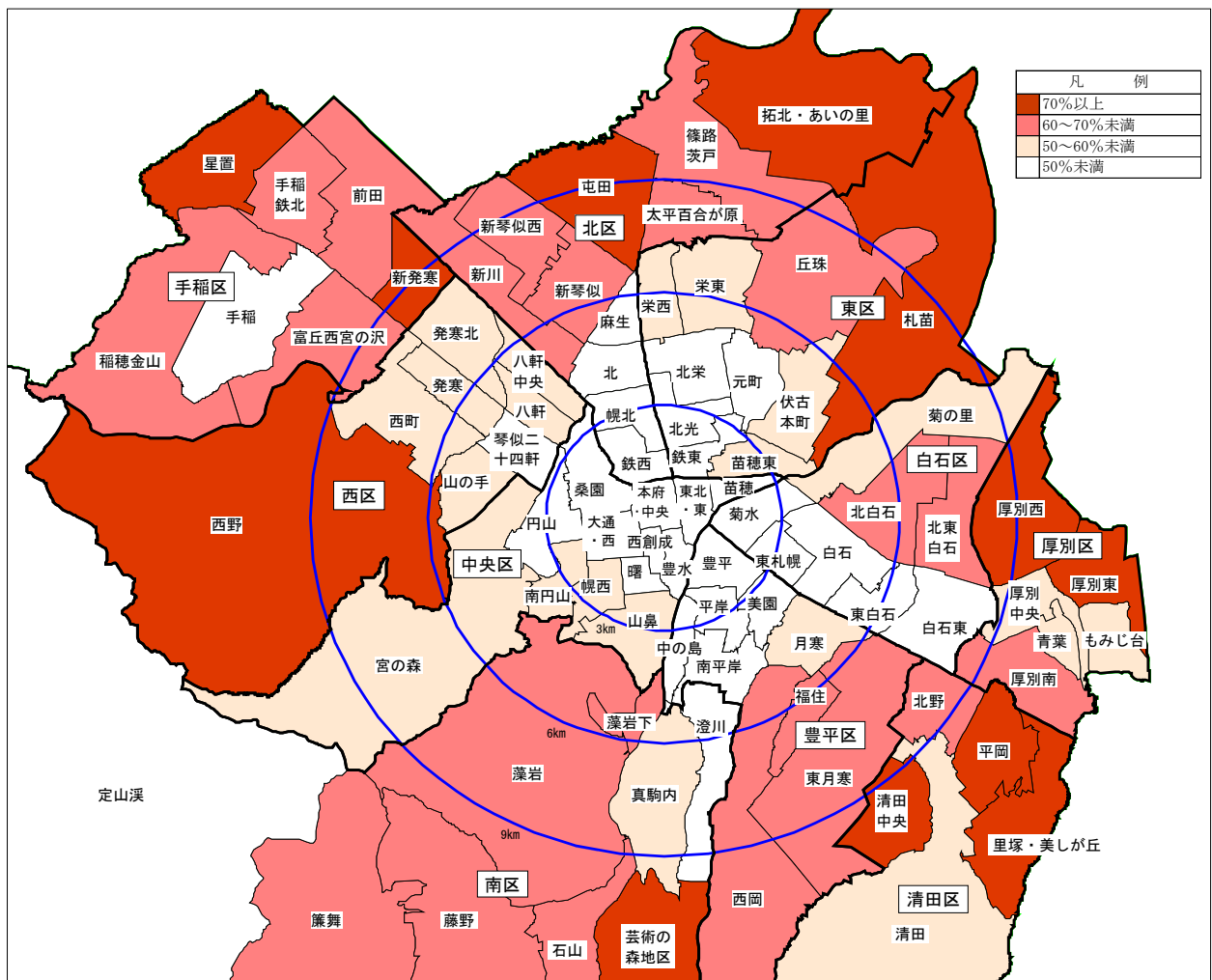
第7-4表 核家族世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

一般世帯総数に占める割合であり、家族類型「不詳」を除いて算出。

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	核家族世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	核家族世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	手) 星置	75.0	1	中) 西創成	16.6
2	清) 清田中央	74.9	2	北) 幌北	17.6
3	清) 里塚・美しが丘	74.3	3	中) 豊水	18.8
4	厚) 厚別西	73.9	4	中) 大通・西	21.2
5	北) 拓北・あいの里	73.0	5	南) 定山溪	22.1
6	清) 平岡	72.8	6	北) 鉄西	23.8
7	厚) 厚別東	72.3	7	中) 曙	27.1
8	手) 新発寒	72.0	8	北) 麻生	28.7
9	北) 屯田	71.6	9	中) 東北・東	29.3
10	南) 芸術の森地区	70.5	10	中) 本府・中央	29.7

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-4図 まちづくりセンター別核家族世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第7-4表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一をみると、手稲区の「星置」が75.0%で最も高く、以下、清田区の「清田中央」が74.9%、清田区の「里塚・美しが丘」が74.3%などと続いている。

一方、核家族世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、中央区の「西創成」が16.6%で最も低く、以下、北区の「幌北」が17.6%、中央区の「豊水」が18.8%などとなっている。核家族世帯の割合が2割を下回っているのはこれら3つのまちづくりセンターのみである。

核家族世帯の割合は、都心や地下鉄沿線から離れるにしたがって高くなる傾向がみられる。

6歳未満の子供がいる一般世帯の割合は、東区の「札苗」や北区の「屯田」など新興住宅地を含む地域で特に高い（第7-5表、第7-5図）

一般世帯総数に占める6歳未満の子供がいる一般世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、東区の「札苗」が11.8%で最も高く、以下、北区の「屯田」が11.0%、北区の「太平百合が原」及び南区の「藻岩下」が9.8%などと続いている。

一方、6歳未満の子供がいる一般世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、南区の「定山溪」が1.9%で最も低く、以下、中央区の「豊水」が2.1%、中央区の「西創成」が2.5%などと続いている。

6歳未満の子供がいる一般世帯の割合は、都心から6km以上のまちづくりセンターで高い傾向があり、中でも、東区の「札苗」、北区の「屯田」、北区の「太平百合が原」、北区の「拓北・あいの里」などの新興住宅地を含む地域で特に高い傾向がみられる。

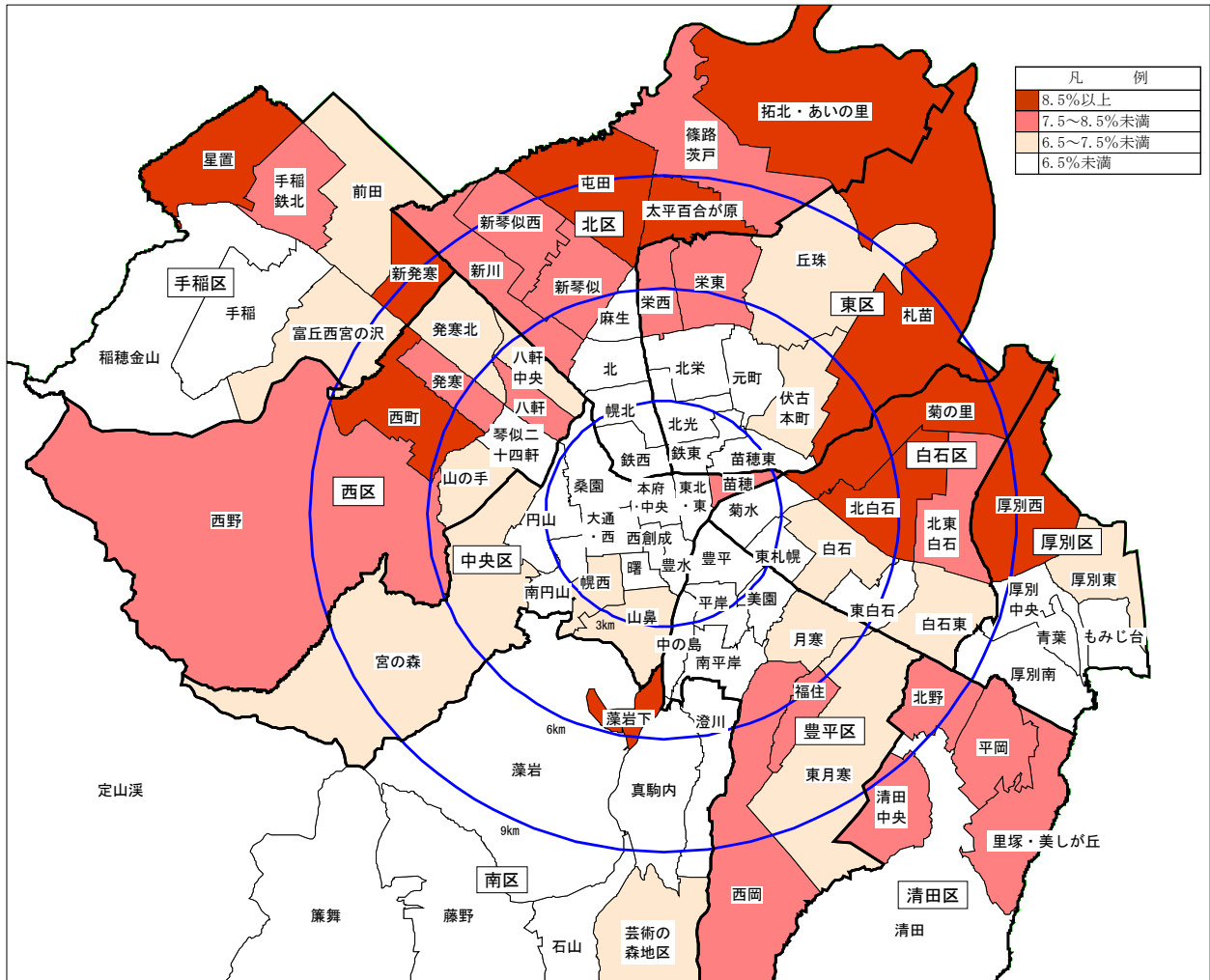
第7-5表 6歳未満の子供がいる一般世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

一般世帯総数に占める割合であり、家族類型「不詳」を除いて算出。

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	6歳未満の子供がいる一般世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	6歳未満の子供がいる一般世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	東) 札苗	11.8	1	南) 定山溪	1.9
2	北) 屯田	11.0	2	中) 豊水	2.1
3	北) 太平百合が原	9.8	3	中) 西創成	2.5
3	南) 藻岩下	9.8	4	北) 幌北	2.7
5	北) 拓北・あいの里	9.4	5	中) 本府・中央	2.8
6	手) 新発寒	9.3	6	厚) もみじ台	3.2
7	白) 菊の里	9.0	7	中) 大通・西	3.5
8	西) 西町	8.7	7	北) 鉄西	3.5
9	厚) 厚別西	8.6	7	北) 麻生	3.5
9	手) 星置	8.6	10	中) 曙	4.0
			10	厚) 青葉	4.0

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-5図 まちづくりセンター別6歳未満の子供がいる一般世帯割合
(令和2年10月1日現在)



注： 第7-5表参照。
 <資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

2 65歳以上世帯員のいる世帯

厚別区の「もみじ台」では、65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合が3分の2を超える（第7-6表、第7-6図）

令和2年10月1日現在の一般世帯総数に占める65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が67.1%で3分の2以上を占めて最も高く、以下、厚別区の「青葉」が63.1%、南区の「藤野」が57.0%などと続いている。

一方、65歳以上世帯員のいる

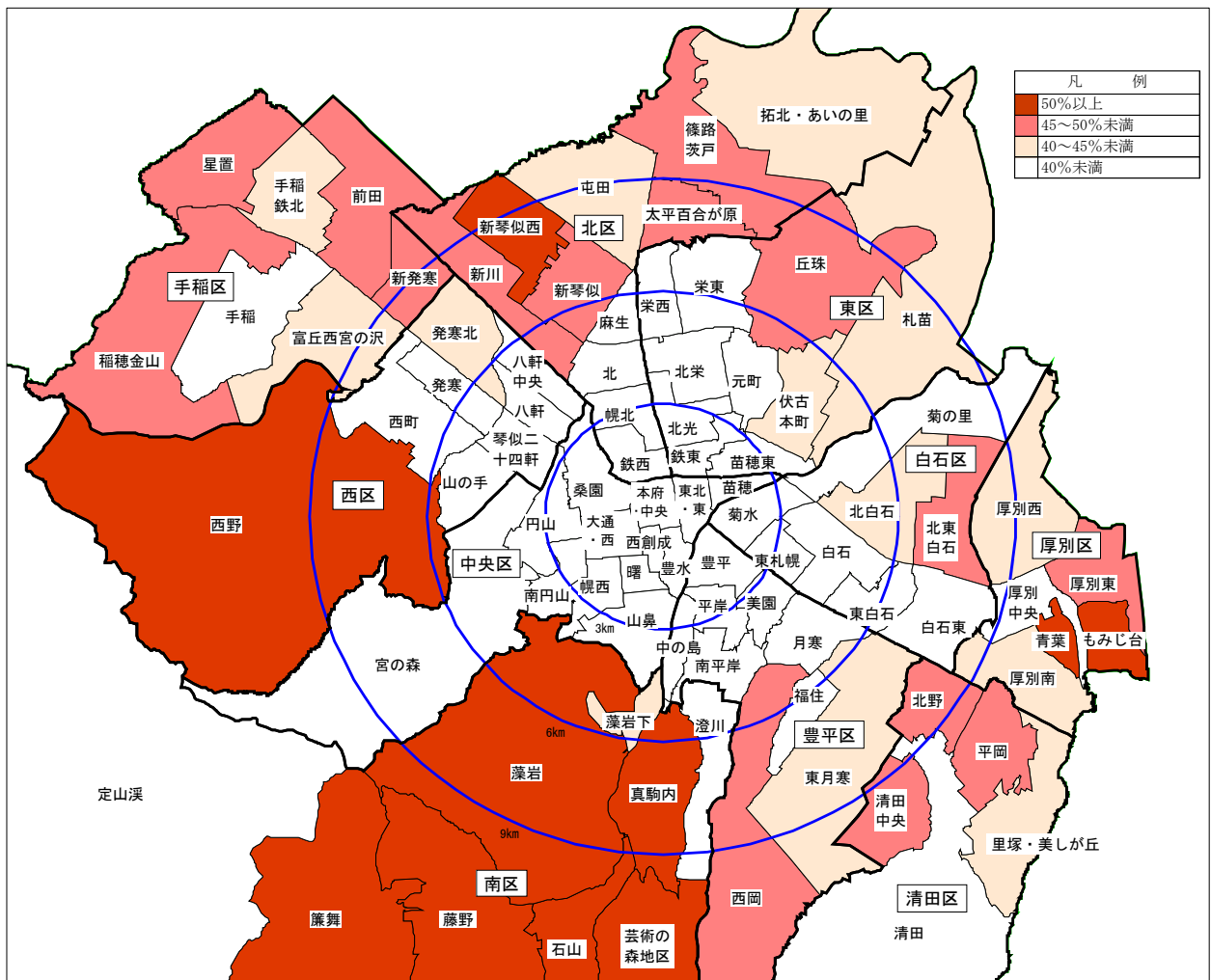
第7-6表 65歳以上世帯員のいる一般世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

一般世帯総数に占める割合である。

		令和2年10月1日現在			
順位	65歳以上世帯員のいる一般世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	65歳以上世帯員のいる一般世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	厚) もみじ台	67.1	1	北) 幌北	13.3
2	厚) 青葉	63.1	2	北) 鉄西	16.4
3	南) 藤野	57.0	3	中) 東北・東	16.6
4	南) 石山	56.1	4	中) 西創成	16.7
5	南) 芸術の森地区	54.5	5	中) 大通・西	18.2
6	南) 簾舞	53.6	6	中) 豊水	21.1
7	西) 西野	53.3	7	豊) 美園	23.0
8	北) 新琴似西	52.6	8	豊) 平岸	24.1
9	南) 藻岩	52.0	9	白) 菊水	24.5
10	南) 真駒内	50.1	9	豊) 豊平	24.5

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-6図 まちづくりセンター別65歳以上世帯員のいる一般世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第7-6表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一般世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が13.3%で最も低く、以下、北区の「鉄西」が16.4%、中央区の「東北・東」が16.6%などと続いている。

65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合が高いまちづくりセンターの上位は、厚別区の「もみじ台」及び「青葉」のほか、南区のまちづくりセンターが多くを占めている。

第7-7表 65歳以上世帯員の単独世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

一般世帯総数に占める割合である。

(単位 %)

令和2年10月1日現在

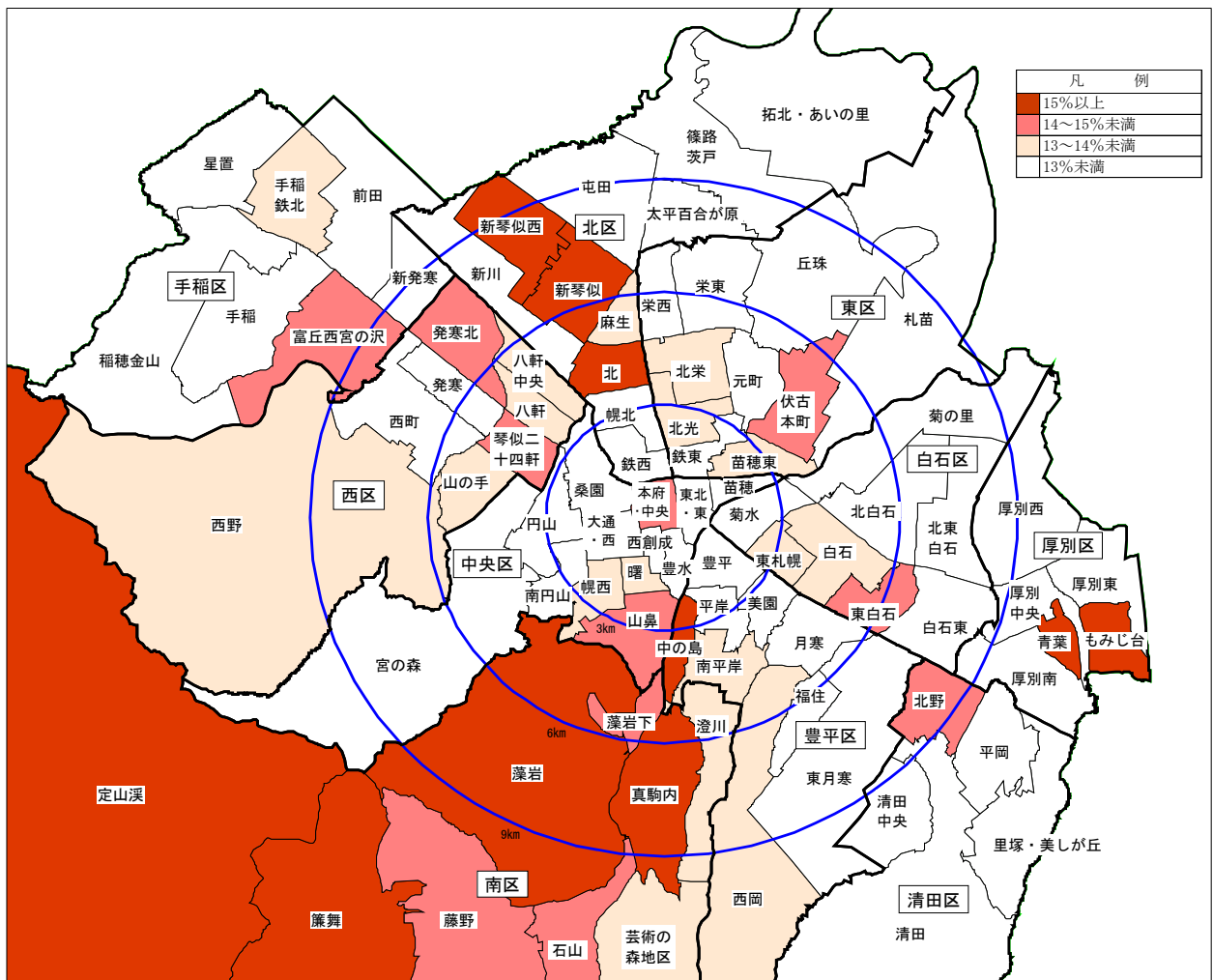
順位	65歳以上世帯員の単独世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	65歳以上世帯員の単独世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	厚) もみじ台	30.1	1	北) 幌北	7.2
2	厚) 青葉	27.2	2	中) 東北・東	7.4
3	南) 真駒内	20.8	3	北) 鉄西	7.5
4	豊) 中の島	16.5	4	北) 拓北・あいの里	9.3
5	南) 定山溪	16.1	5	中) 苗穂	9.4
6	南) 簾舞	15.7	6	清) 里塚・美しが丘	9.5
7	北) 北	15.4	7	厚) 厚別西	9.7
7	北) 新琴似西	15.4	8	豊) 美園	9.9
9	南) 藻岩	15.3	9	手) 新発寒	10.0
10	北) 新琴似	15.2	10	中) 大通・西	10.2

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

厚別区の「もみじ台」では、65歳以上世帯員の単独世帯の割合が3割を超える(第7-7表、第7-7図)

次に、平成27年以前の国勢調査において「高齢単身世帯」と定義されていた「65歳以上世帯員の単独世帯」に注目する。

第7-7図 まちづくりセンター別65歳以上世帯員の単独世帯割合(令和2年10月1日現在)



注: 第7-7表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一般世帯総数に占める 65 歳以上世帯員の単独世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が 30.1%で3割を超えて最も高く、以下、厚別区の「青葉」が 27.2%、南区の「真駒内」が 20.8%などと続いている。

一方、65 歳以上世帯員の単独世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が 7.2%で最も低く、以下、中央区の「東北・東」が 7.4%、北区の「鉄西」が 7.5%などと続いている。

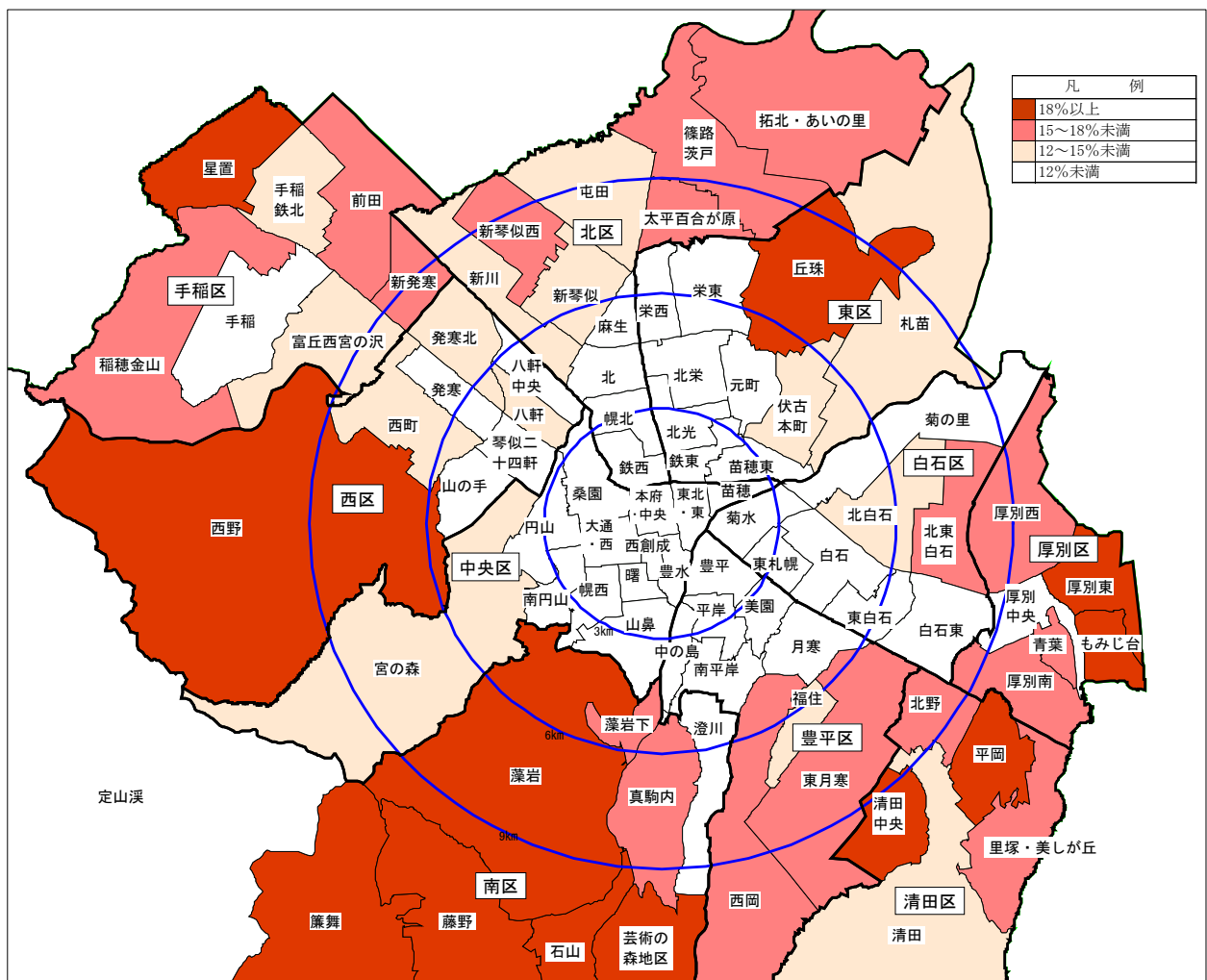
65 歳以上世帯員の単独世帯の割合が高いまちづくりセンターの上位は、厚別区の「もみじ台」及び「青葉」のほか、南区のまちづくりセンターが多い傾向があり、南区の「真駒内」、「定山溪」、「簾舞」、「藻岩」などで特に高くなっている。

夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯の割合は、南区の「芸術の森地区」が最も高い（第 7-8 表、第 7-8 図）

続いて、平成 27 年以前の国勢調査において「高齢夫婦世帯」と定義されていた「夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯」に注目する。

夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、南区の「芸術の森地区」が 22.2%で最も高く、以下、南区の「藤野」が 21.4%、南区の「石山」が 21.2%など

第7-8図 まちづくりセンター別夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合
(令和2年10月1日現在)



注： 第7-8表参照。
<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

と続いている。

一方、夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、北区の「幌北」が 2.9%で最も低く、以下、中央区の「西創成」が 3.1%、中央区の「大通・西」が 4.0%などと続いている。

夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯の割合が高いまちづくりセンターの上位 3 つは、南区のまちづくりセンターが占めており、いずれも 2 割を超えて高くなっている。

第7-8表 夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

一般世帯総数に占める割合である。

(単位 %) 令和 2 年 10 月 1 日 現在

順位	夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	南) 芸術の森地区	22.2	1	北) 幌北	2.9
2	南) 藤野	21.4	2	中) 西創成	3.1
3	南) 石山	21.2	3	中) 大通・西	4.0
4	厚) もみじ台	20.0	4	中) 豊水	4.6
5	西) 西野	19.6	5	中) 東北・東	4.9
6	厚) 厚別東	19.5	6	中) 曙	5.1
7	清) 清田中央	19.2	6	北) 麻生	5.1
8	南) 藻岩	19.0	8	北) 鉄西	5.2
9	清) 平岡	18.9	9	豊) 平岸	5.8
10	東) 丘珠	18.3	10	白) 菊水	6.1
10	手) 星置	18.3	10	豊) 美園	6.1

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

3 住宅の所有の関係

(1) 持ち家

持ち家に住む世帯の割合は、都心から離れた統計区で高い傾向(第7-9表、第7-9図)

令和2年10月1日現在の住宅に住む一般世帯総数に占める持ち家に住む世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、南区の「簾舞」が91.4%で9割を超えて最も高く、以下、南区の「芸術の森地区」が88.3%、南区の「藤野」が86.2%などと続いている。

一方、持ち家に住む世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、中央区の「西創成」が12.4%

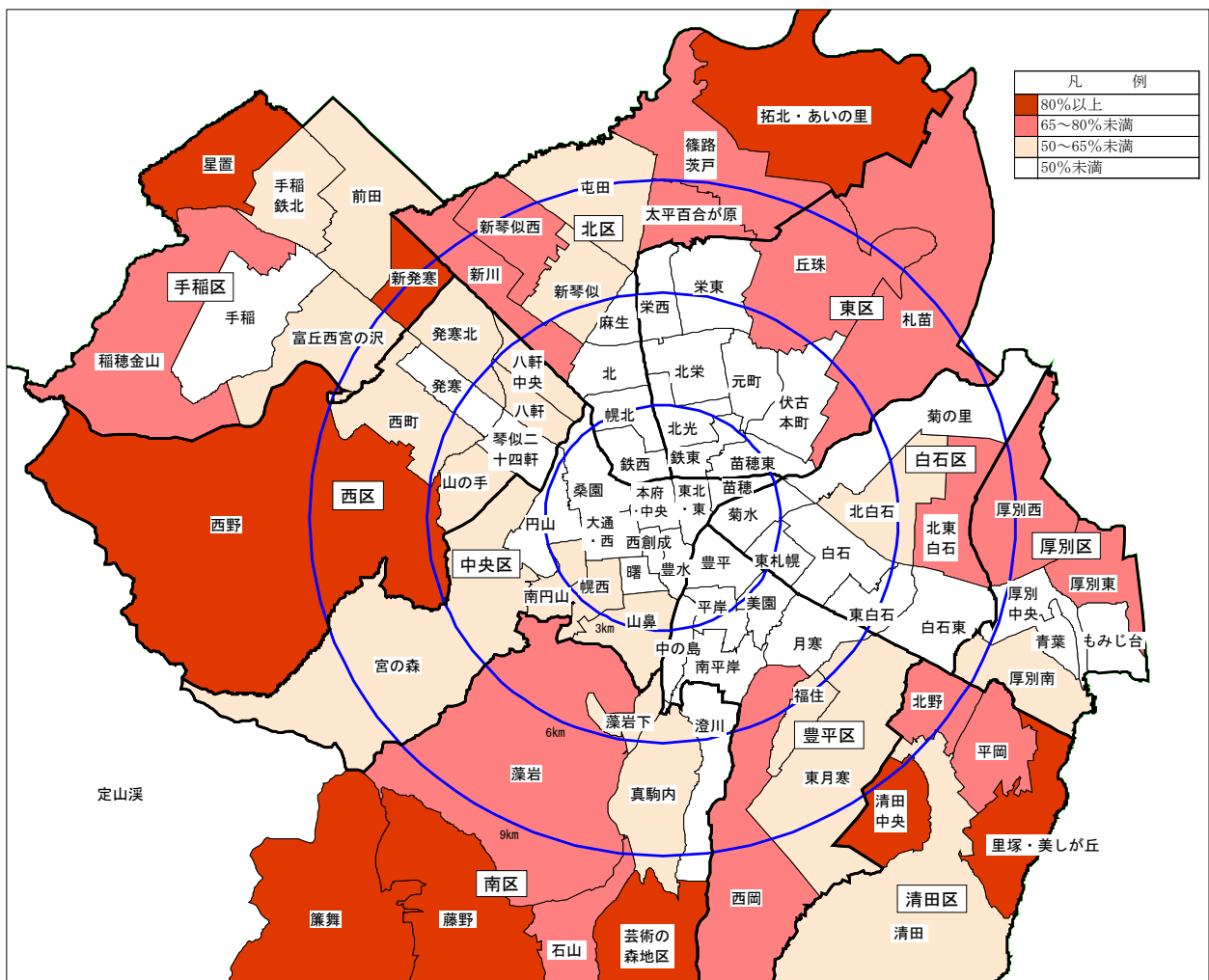
第7-9表 持ち家に住む世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。

(単位 %)			令和2年10月1日現在		
順位	持ち家に住む世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	持ち家に住む世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	南) 簾舞	91.4	1	中) 西創成	12.4
2	南) 芸術の森地区	88.3	2	北) 幌北	15.8
3	南) 藤野	86.2	3	中) 大通・西	20.2
4	清) 清田中央	85.8	4	中) 曙	21.5
5	北) 拓北・あいの里	84.1	5	白) 東白石	23.7
6	手) 星置	83.4	6	北) 麻生	23.8
7	清) 里塚・美しが丘	83.0	7	中) 豊水	25.5
8	手) 新発寒	82.1	8	豊) 平岸	26.7
9	西) 西野	80.2	9	東) 北光	26.9
10	南) 石山	79.7	10	豊) 美園	27.2

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-9図 まちづくりセンター別持ち家に住む世帯割合(令和2年10月1日現在)



注： 第7-9表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

で最も低く、以下、北区の「幌北」が15.8%、中央区の「大通・西」が20.2%などと続いている。

持ち家に住む世帯の割合は、都心から離れるにしたがって高くなる傾向があり、核家族世帯の割合と似た分布の傾向がみられる。

第7-10表 民営の借家に住む世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。

(2) 民営の借家

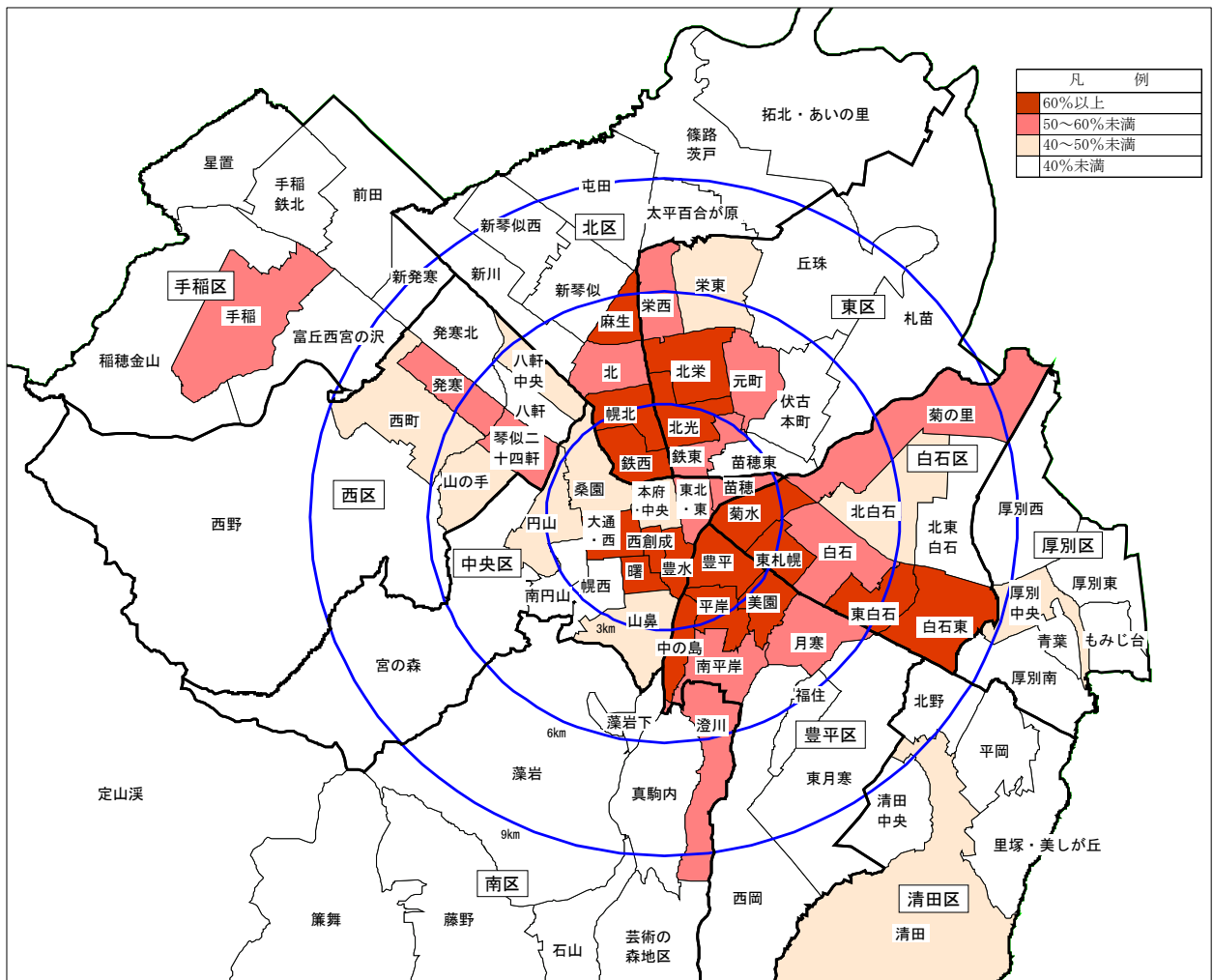
民営の借家に住む世帯の割合は、地下鉄沿線などの地域で高い（第7-10表、第7-10図）

住宅に住む一般世帯総数に占める民営の借家に住む世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、中央区の「西創成」が82.0%で最も高く、次いで、北区の「幌北」が80.6%と、この2つのまちづくりセンターでは8割を超えている。次いで、中央区の「曙」が75.0%

(単位 %)		令和2年10月1日現在			
順位	民営の借家に住む世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	民営の借家に住む世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	中) 西創成	82.0	1	厚) もみじ台	2.4
2	北) 幌北	80.6	2	南) 簾舞	6.5
3	中) 曙	75.0	3	南) 芸術の森地区	9.4
4	中) 大通・西	74.3	4	南) 藤野	9.6
5	北) 麻生	71.6	5	清) 清田中央	9.7
6	白) 東白石	69.7	6	清) 里塚・美しが丘	10.0
7	豊) 美園	68.0	7	手) 星置	10.2
7	豊) 平岸	68.0	8	厚) 青葉	10.8
9	中) 豊水	67.7	9	北) 拓北・あいの里	11.7
10	東) 北光	63.7	9	南) 真駒内	11.7

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-10図 まちづくりセンター別民営の借家に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第7-10表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

などと続いている。

一方、民営の借家に住む世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、厚別区の「もみじ台」が2.4%で最も低く、以下、南区の「簾舞」が6.5%、南区の「芸術の森地区」が9.4%などと続いている。

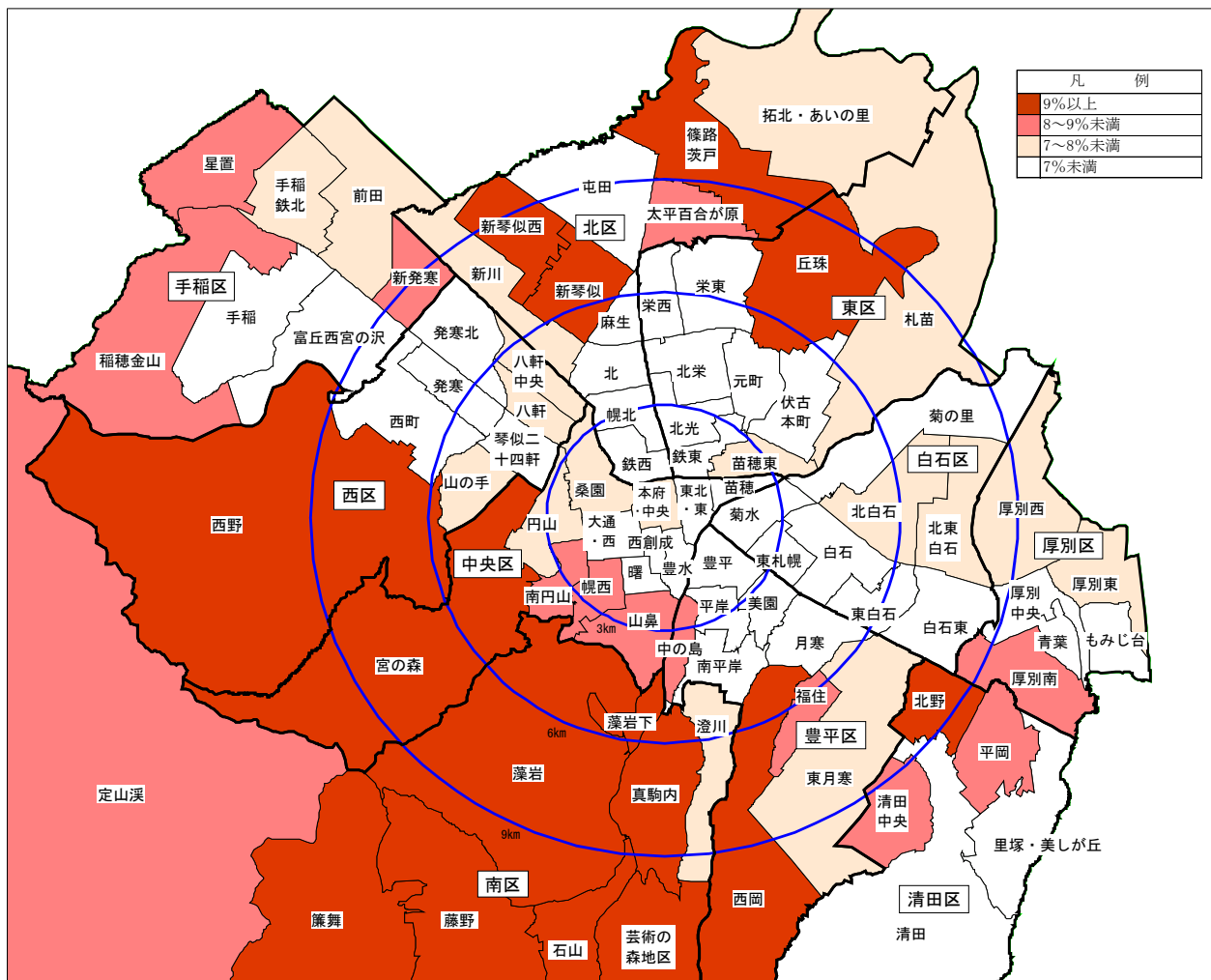
民営の借家に住む世帯の割合は、地下鉄沿線などのまちづくりセンターで高い傾向がみられる。

(3) 持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯及び、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯
持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯の割合が高いまちづくりセンターの上位には、南区のまちづくりセンターが多い(第7-11表、第7-11図)

住宅に住む一般世帯総数に占める持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、南区の「簾舞」が14.6%で最も高く、以下、南区の「藤野」が12.1%、南区の「石山」及び南区の「芸術の森地区」が11.4%などと続いている。

持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯の割合が高いまちづくりセンターの上位には、南区のまちづくりセンターが多くなっている。

第7-11図 まちづくりセンター別持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯割合
(令和2年10月1日現在)



注： 第7-11表参照。

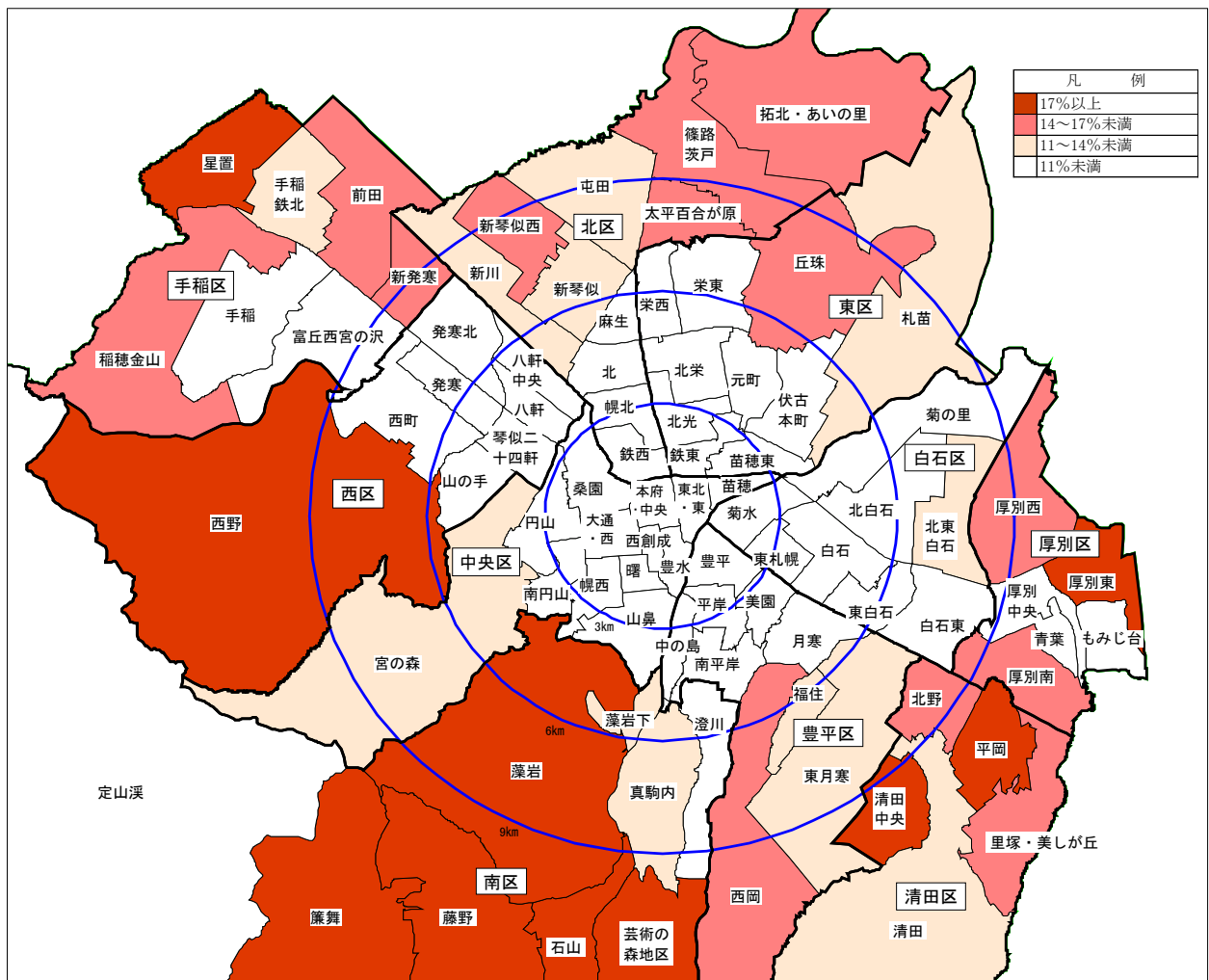
<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

持ち家に住む夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯の割合は、南区の「芸術の森地区」が最も高い（第 7-11 表、第 7-12 図）

住宅に住む一般世帯総数に占める持ち家に住む夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、南区の「芸術の森地区」が 21.3% で最も高く、以下、南区の「藤野」が 20.4%、南区の「石山」が 19.9% などと続いている。

持ち家に住む夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯の割合は、都心から離れるにしたがって高くなる傾向がみられる。

第7-12図 まちづくりセンター別持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合
(令和2年10月1日現在)



注： 第7-11表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-11表 持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯及び夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の高いまちづくりセンター

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。

(単位 %)

令和2年10月1日現在

順位	持ち家に住む65歳以上世帯員の単独世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	持ち家に住む夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯割合の高いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	南) 簾舞	14.6	1	南) 芸術の森地区	21.3
2	南) 藤野	12.1	2	南) 藤野	20.4
3	南) 石山	11.4	3	南) 石山	19.9
3	南) 芸術の森地区	11.4	4	厚) 厚別東	18.3
5	北) 新琴似西	10.6	5	清) 清田中央	18.2
5	西) 西野	10.6	6	西) 西野	18.0
7	南) 藻岩	10.5	7	清) 平岡	17.7
8	清) 北野	10.2	8	南) 簾舞	17.5
9	南) 真駒内	9.7	9	手) 星置	17.3
10	豊) 西岡	9.6	10	南) 藻岩	17.1

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

4 住宅の建て方

南区の「簾舞」では、一戸建に住む世帯の割合が9割を超える（第7-12表、第7-13図）

令和2年10月1日現在の住宅に住む一般世帯総数に占める一戸建に住む世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、南区の「簾舞」が97.0%で9割を超えて最も高く、以下、南区の「藤野」が89.6%、南区の「芸術の森地区」が89.1%などと続いている。

一方、一戸建に住む世帯の割合が低いまちづくりセンターをみると、中央区の「本府・中央」が1.3%で最も低く、以下、中央区の「豊水」が1.5%、北区の「鉄西」が1.6%などと続いている。

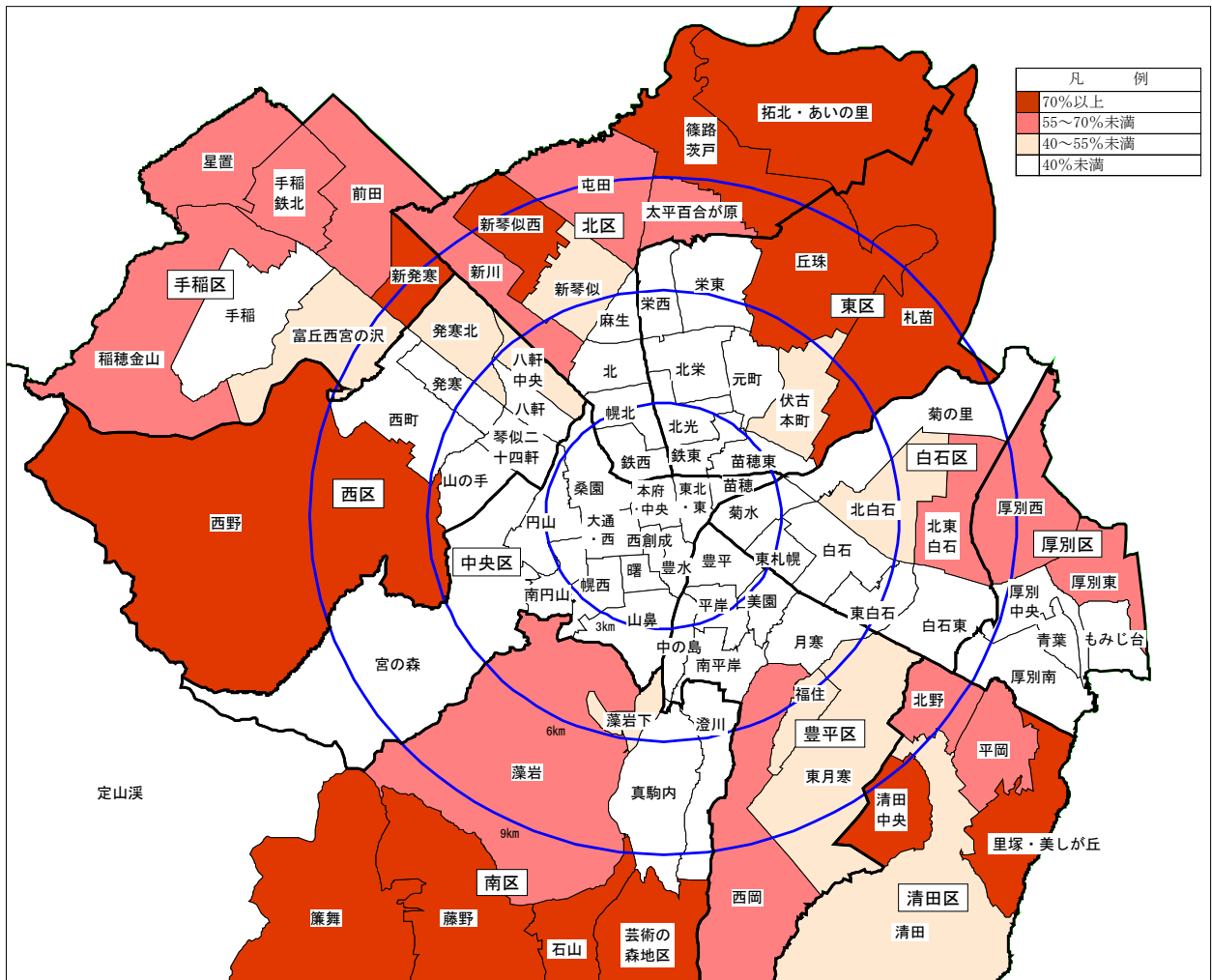
第7-12表 一戸建に住む世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。

（単位 %）		令和2年10月1日現在			
順位	一戸建に住む世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	一戸建に住む世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	南) 簾舞	97.0	1	中) 本府・中央	1.3
2	南) 藤野	89.6	2	中) 豊水	1.5
3	南) 芸術の森地区	89.1	3	北) 鉄西	1.6
4	清) 清田中央	88.7	4	中) 東北・東	1.8
5	西) 西野	85.4	5	中) 西創成	2.2
6	手) 新発寒	78.8	6	中) 大通・西	3.9
7	東) 丘珠	75.3	7	北) 幌北	5.1
8	清) 里塚・美しが丘	75.2	8	中) 桑園	6.1
9	東) 札苗	74.9	8	西) 琴似二十四軒	6.1
10	北) 拓北・あいの里	74.7	10	中) 円山	7.0

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-13図 まちづくりセンター別一戸建に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第7-12表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

一戸建に住む世帯の割合は、都心から離れるにしたがって高くなる傾向があり、核家族世帯の割合や持ち家に住む世帯の割合の分布と似た傾向がみられる。

共同住宅に住む世帯の割合は、都心から3km未満や地下鉄沿線などの地域で高い（第7-13表、第7-14図）

住宅に住む一般世帯総数に占める共同住宅に住む世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、中央区の「豊水」が98.3%で最も高く、以下、北区の「鉄西」が98.2%、中央区の「本府・中央」及び中央区の「東北・東」が98.1%などと続いている。

一方、共同住宅に住む世帯の割

第7-13表 共同住宅に住む世帯割合の高いまちづくりセンター及び低いまちづくりセンター

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。

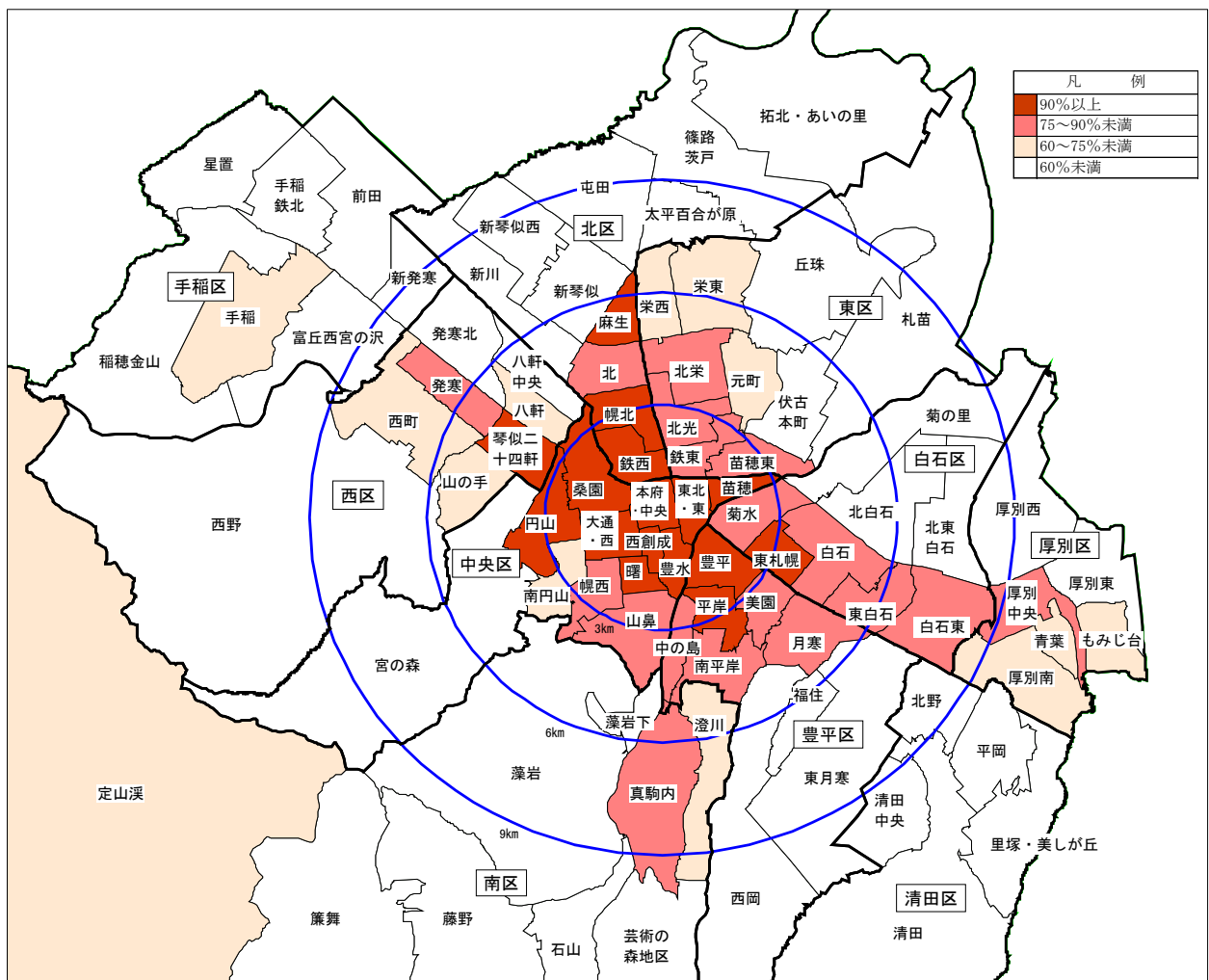
（単位：%）

令和2年10月1日現在

順位	共同住宅に住む世帯割合の高いまちづくりセンター		順位	共同住宅に住む世帯割合の低いまちづくりセンター	
	まちづくりセンター	割合		まちづくりセンター	割合
1	中) 豊水	98.3	1	南) 簾舞	2.3
2	北) 鉄西	98.2	2	南) 藤野	8.6
3	中) 本府・中央	98.1	3	南) 芸術の森地区	9.8
3	中) 東北・東	98.1	4	清) 清田中央	11.0
5	中) 西創成	97.5	5	西) 西野	13.0
6	中) 大通・西	95.8	6	手) 新発寒	20.0
7	北) 幌北	94.3	7	東) 札苗	22.9
8	中) 桑園	93.6	8	東) 丘珠	23.0
8	西) 琴似二十四軒	93.6	9	北) 拓北・あいの里	23.4
10	中) 円山	92.6	10	北) 新琴似西	23.7

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-14図 まちづくりセンター別共同住宅に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第7-13表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

合が低いまちづくりセンターをみると、南区の「簾舞」が2.3%で最も低く、以下、南区の「藤野」が8.6%、南区の「芸術の森地区」が9.8%などと続いている。

共同住宅に住む世帯の割合は、都心から3km未満のまちづくりセンターで高いほか、地下鉄沿線などのまちづくりセンターでも高い傾向がみられる。

3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯の割合が高いまちづくりセンターの上位は、中央区のまちづくりセンターが占める（第7-14表、第7-15図）

次に、分譲マンションなどが該当すると考えられる3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯に注目する。

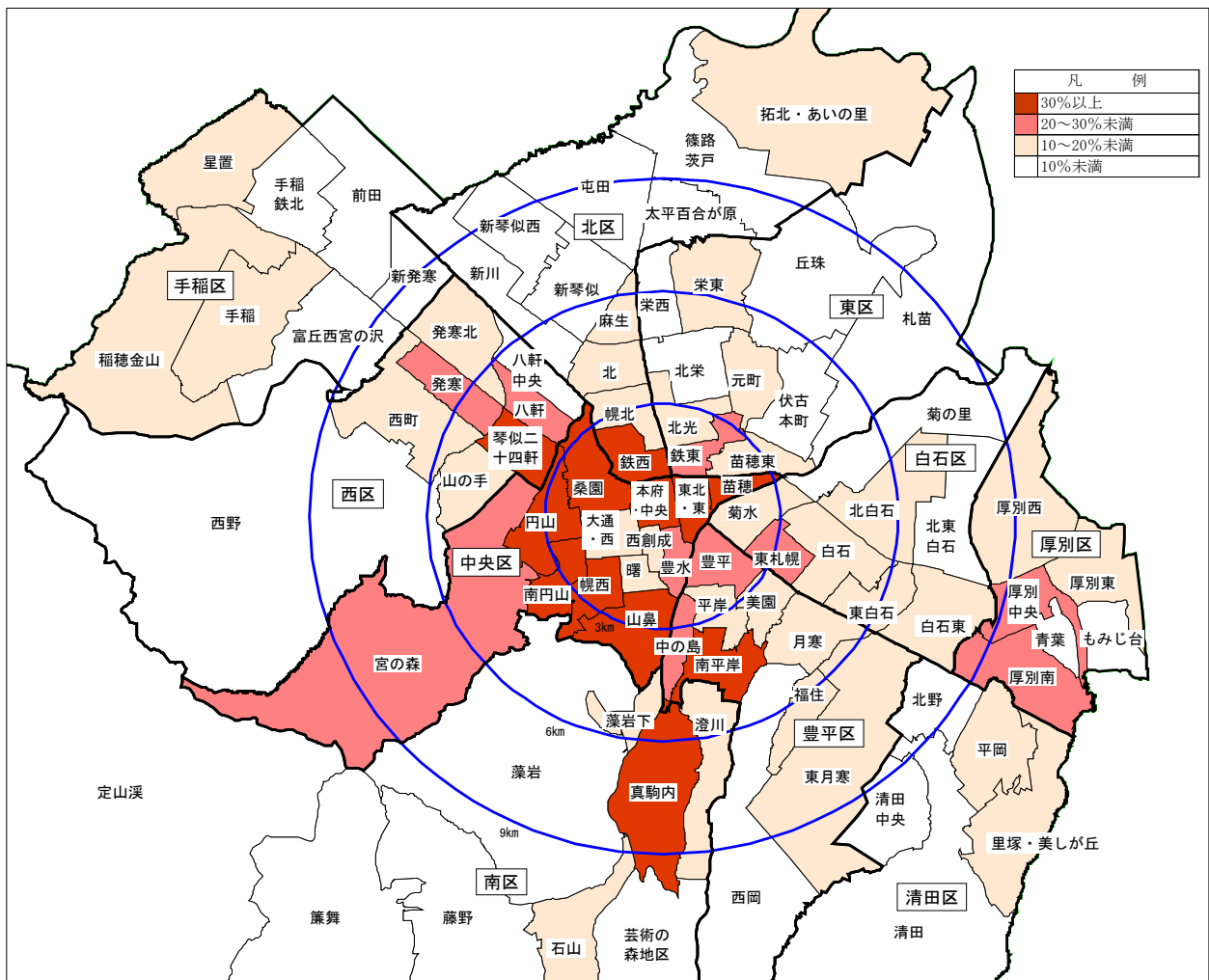
第7-14表 3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯割合の高いまちづくりセンター

住宅に住む一般世帯総数に占める割合である。

(単位 %)		令和2年10月1日現在
順位	まちづくりセンター	3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯割合
1	中) 桑園	40.6
2	中) 本府・中央	39.1
3	中) 苗穂	37.6
4	中) 円山	36.5
5	中) 幌西	36.0
6	中) 山鼻	34.8
7	南) 真駒内	33.8
8	中) 東北・東	33.1
9	西) 琴似二十四軒	32.1
10	北) 鉄西	30.4

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

第7-15図 まちづくりセンター別3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯割合（令和2年10月1日現在）



注： 第7-14表参照。

<資料> まちづくり政策局政策企画部企画課「国勢調査」

住宅に住む一般世帯総数に占める3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯の割合が高いまちづくりセンターをみると、中央区の「桑園」が40.6%で4割を超えて最も高く、以下、中央区の「本府・中央」が39.1%、中央区の「苗穂」が37.6%などと続いている。

3階建以上共同住宅の持ち家に住む世帯の割合が高い上位10か所のうち7か所は、中央区のまちづくりセンターが占めている。また、南区の「真駒内」や、西区の「琴似二十四軒」など地下鉄駅のあるまちづくりセンターでも高い傾向がみられる。